

議会だより



今年はみんなで夏を楽しもう！

- 令和4年6月定例会・臨時会……………P2
- 一般質問……………P3～P8
- 一般質問・竹島対策特別委員会……………P9
- 委員長報告……………P10～11
- 議会基本条例・住民アンケート結果…P12～15
- 採決状況・陳情……………P16



中村保育所の年中児のお友だちがカナヘビを見つけ、大切に飼育すると産卵しました。孵化した赤ちゃんカナヘビを観察する様子。

令和4年6月定例会
 例会が6月24日から7月4日までの11日間で行なわれました。

主な議案は令和3年度の各会計補正予算、条例の一部改正など、専決処分8件、令和4年度一般会計及び特別会計補正予算、条例の一部改正や工事請負契約の締結など12件、合わせて20件は、全会一致で可決・承認しました。
 町政に対して、12名が一般質問を行いました。

主な補正予算

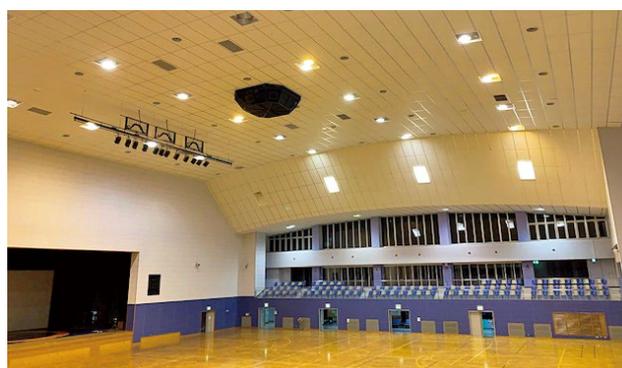
- ★西郷歯科診療所整備事業……………3,725万円
閉所した民間診療所を借用し、町立歯科診療所を開設するための備品整備や施設改修、借上げ料など。
- ★県立高校施設整備事業……………3,567万円
隠岐水産高校寄宿舎の設計費や地質調査業務など。
- ★産業廃棄物処理施設整備事業補助金…1,750万円
焼却炉更新工事実施中、煙突内部の老朽化が新たに発見され、修繕対処から取替え工事となった。
- ★探勝歩道改修事業……………600万円
あいらんどパーク西側の探勝歩道の腐食した木製階段の取替えや通行の妨げになる支障木の伐採など。



140段程度の改修を行う探勝歩道入り口

主な工事請負契約の締結

- ★運動公園総合体育館照明改修工事
5者による指名競争入札により、(株)中電工隠岐営業所が1億615万円で落札した。



老朽化によりLEDに取り替えられる照明

条例の一部改正

- ★隠岐の島町牧野設置及び管理条例の一部改正する条例（「油井すいせん牧野」廃止）
地形条件などにより、今後の利用が見込まれないため廃止。

物品購入契約の締結

- ★小型ノンステップバス
5者による指名競争入札により、(有)門脇自動車整備工場が2,246万円で落札した。

第2回臨時会

令和4年5月20日、第2回臨時会を開催し、工事請負契約の2件を全会一致で可決しました。

工事請負契約の締結

- ★子育てビジター交流センター建設工事
5者による指名競争入札により、(株)吉崎工務店が9,746万円で落札した。
- ★公共下水道管路布設（2号幹線その9）工事
15者による指名競争入札により、(株)隠岐商事が5,005万円で落札した。

町政に問う! 一般質問

町長

……町長答弁

問

……議員質問



畜産センター(旧空港)で行われた仔牛の競り

紙面上、質問と答弁は要約した内容となっております。
全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載しています。
またYouTubeにて動画も公開しており、スマホや
タブレットから右のQRコードを読み取ると簡単に
アクセスできます。



際は物流が途絶えるこ
施設が存在し、有事の
輸送機関の拠点となる
要な港、空港といった
圈内には本町からの主
要な港、空港といった

町長
島根原発の半径
30キロメートル

給に関する考え方は。
また、事故があった
場合、本町へ物資の供
給に関する考え方は。

問 本町は緊急時防
護措置準備区域
の半径30キロからは外
れるが、フェリーや航
空の輸送機関は圏内に
ある。本町にあたって
物資の輸送等はどうな
るのか。

**A 関係機関と連携し
確保に努める。**



おお え としなが
大江 寿 議員

報共有し確保に努め
る。
本町でも関係機関と
連携し必要な物資やそ
の量の把握に努め、情

とは容易に想像できる
ことから、食料や生活
必需品などの備蓄の確
保に努めている。また、
昨年12月の県議会島根
原発対策特別委員会に
おいて隠岐圏域の物資
輸送の質問もされてお
り、有事の際には影響
のない港を使用するこ
とや自衛隊、海上保安
庁等の実働組織による
緊急輸送を行うとの回
答もあった。





よねざわ とししげ 米澤 寿重 議員

Q 松阪市・浜田市との
駅鈴が取り持つ
交流の考えは。

A 民間主体の交流が
重要である。

問 玉若酢命神社宮司 億岐家に伝わる駅鈴は国の「重要文化財」に指定され、本町の貴重な文化遺産となっている。

三重県松阪市駅前の巨大な駅鈴のモニユメントは十二代浜田藩主松平康定が国学者本居宣長に贈った駅鈴をモデルにして作られている。この駅鈴は億岐家に伝わる駅鈴の複製であるとの記録がある。松阪市と浜田市との間では「松阪市・浜田市観光文化交流協定」が

締結され、すでに交流を進めている。

本町が誇る駅鈴が取り持つ縁をよい機会と捉え、今後、松阪市・浜田市とより一層交流を深めなければならぬ。町長は両市との交流についてどのようなように考えているか。

町長 両市との交流に体での交流を深めていくことが重要と考える。本町の「歴史文化交流推進協議会」の実施する事業を支援し、貴重な文化財等を広く情報発信し、有効活用が図られるよう努める。



駅鈴による交流を

問 今後、文化交流が深まり、本町の持つ歴史文化遺産が注目されるようになれば、歴史・文化に関心を持った方の来島が期待される。松阪市・浜田市が既に設置している駅鈴のモニユメントを本町の玄関口である港周辺に設置する考えはあるか。

町長 現時点においては新たに駅鈴のモニユメントの設置は考えていない。今後、松阪市・浜田市との駅鈴を縁とした交流を深めていく中で、町内で広く機運が高まれば、改めて検討する。

近年、高齢化や過疎化により各集落での避難支援を行う人員不足等によって地域における災害対策が十分に行えない状況にあり、今後は官民だけでなく、特に消防や警察組織が保有しない重機等の資機材、専門的な技術や知識など保有している建設業との連携が重要視されている。

災害に強い町を目指すためには、災害時だけでなく、平常時から建設業界との連携を強化する必要がある。



あべ だいすけ 安部 大助 議員

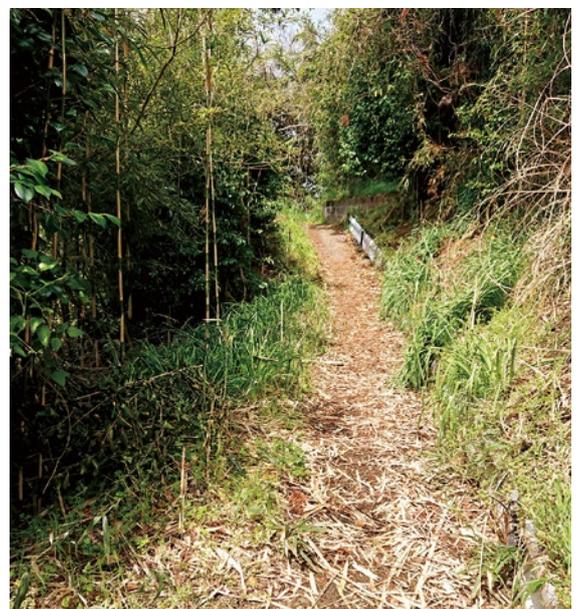
Q 災害予防も建設業と連携を。

A 引き続き情報交換しつつ。

問 近年、高齢化や過疎化により各集落での避難支援を行う人員不足等によって地域における災害対策が十分に行えない状況にあり、今後は官民だけでなく、特に消防や警察組織が保有しない重機等の資機材、専門的な技術や知識など保有している建設業との連携が重要視されている。

令和2、3年度の災害を通して、より災害対策強化に向け、今後の取り組みについて町長の考えと、今後の災害予防、応急対策について、建設業協会とさらに連携を強化し進める必要があると考えるが、町長の考えは。

町長 二年連続起きた災害を通して、住民の皆さんにとって自分の周り、我々が気付かなければいけない部分など全てが満足できる対応ではなかった。今回の災害を踏ま



平常時からの整備を

え防災計画の徹底と、起きてはならない最悪の事態を想定した対応をさらに進めて行く。地域防災については人口が流出している地域においては啓蒙普及だけでは対応できないのが現状だ。その様な中で建設業協会については災害全般において頼っていていなくてはならない協会と想っている。災害予防、応急対策も含め総括的に今後も引き続き情報交換しながら、災害に強い町づくりに取り組む。

令和2、3年度の災害を通して、より災害対策強化に向け、今後の取り組みについて町長の考えと、今後の災害予防、応急対策について、建設業協会とさらに連携を強化し進める必要があると考えるが、町長の考えは。



ふじの さだゆき 議員
藤野 定幸

Q 基金の運用のあり方は。

A 各基金条例に則し繰替え運用を行っている。

問 財政調整基金・地域振興基金より40億円運用しているが、なぜ年度末に整理をしないのか。本町の財政状況が分かりづらく思うが、類似する自治体では年度末に基金の運用を終え、金融機関から一時借入れをしているようにだが本町との違いは。 **町長** 本町には一定の基金残高があり、金融機関からの一時的借入は行わず、各基金条例に則し、年度内に一時的な資金不足など

に対応する場合は、期間及び利率を定め、繰替え運用を行っている。

Q 地方債の現在高の推移と今後の財政は。

A 健全な財政運営に努める。

問 平成28年の「中期財政計画」より財政状況が悪くなっていると思う。財政規模は減らすべきと考え

交付税や町税が増えない中では、既存事業を見直すべきだと考えるが、今までの事業の検証はどの様に行われて来たのか。 **町長** 近年実施した大規模事業などで財政指標に若干影響を与えているが、景気対策などの施策に取り組んでいる。 持続可能な財政運営のため、国の補助制度などの活用など、新た

な財源確保や、基金の活用、業務委託など民間活力の導入も推進し、健全な財政運営に努める。

事業の検証は「第2次総合振興計画」の中で、各種事業にKPI（重要業績評価指標）を設定し、内部評価を行っている。

問 「運動公園整備事業」など、検証をして「あれも、これも」から、「あれか、これか」と言う選択にするべきだと考えるが。

町長 「あれや、これや、でなく絞れ」の指摘は受け止めるが、「あれや、これや」と言う考えで選択していい。きちんとした財源を確保するのが私の仕事だ。



おかだ ともこ 議員
岡田 智子

Q 本町独自の「脱炭素化行動」を策定し、経済のグリーン化の推進を。

A 「地球温暖化対策実行計画」の策定過程において、検討する。

問 脱炭素社会の実現には、環境保全と経済成長の両立を図る「経済のグリーン化」を目指す必要がある。そこで①従来の地産地消から環境ビジネスへの発展②二酸化炭素を見える化した環境にやさしいまちづくりの推進③女性が活躍しながら取り組む、本町独自の「脱炭素化行動」の策定を提案するが、町長の見解は。

また、2050年までに、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明する自治体が増える中、本町も検討すべきでは。

町長 脱炭素社会の実現に向けた対応を、新たな成長機会ととらえ、地域脱炭素や、再生可能エネルギーの導入による、地球温暖化対策に取り組んでいく。

また、本年度策定予定の「地球温暖化対策実行計画」において検討するとともに、町民・事業所・行政が一体となった体制を構築して



資源を循環させる仕組みづくりを

いく。そして、地域脱炭素への機運が醸成したところで「ゼロカーボンシティ宣言」を前向きに検討していく。

Q 「隠岐は絵の島」「カード」の実証実験を。

A 今後、調査研究する。

問 本町の課題に、ごみの減量化と資源化がある。そこで「分別」に特化した、隠岐の島町地域通貨「隠岐は絵の島 エコカード」による実証実験を提案するが、町長の見解は。

町長 来年度から「ごみ指定袋制度への移行」及び「分別収集体制の見直し」を行うことで、ごみの発生抑制につながるよう取り組んでいく。提案については、調査研究したい。



さいとう のりこ 議員
齋藤 則子

Q本町は県の避難計画・対策に入っていないが。

A国・県の対応を待つことになるが緊急時の対応を考えたい。

問 6月3日の山陰中央新報紙に「丸山知事再稼働同意」に関する解説と翌日の出水薫教授の言葉に「首長や議会の役割が住民の安全、安心と福利を守る」とある。再稼働同意はこの事がなおざりにされた。

県の原発事故時の避難計画・対策に隠岐はない。しかし30キロ圏内にある、隠岐の生命線である七類・境港港が閉鎖された時の大型

フェリーが接岸可能な港を確保すべきと考えるが、町長の考えは。

町長 県は国が定めた重点区域に則して避難計画を策定している。物流に関しても、町民の避難が必要になった場合も、受け地となる市町村や自衛隊・海上保安庁などの協力が必要だ。

問 事故が起きてから準備しておくべきだと思うが。

町長 最終的には国や県の対応を待つことになるが、緊急時の対応を強化できるように考えたい。

Q隠岐本土間の運賃をJR並みに。

A今後も引き続き努力する。

問 島の経済活性化や、国民は法の下に平等の観点からも、隠岐航路の高い運賃は、国がJR並みに負担すべきだ。

来年度の「離島振興法」改正に向けてこの運賃低廉化を強力に推進する考えは。

町長 離島交通対策は普遍的な最重要課題であり、引き続き国や各省庁に要望する。



運賃低廉化への引き続きの要望を



きくち まさふみ 議員
菊地 政文

Q道路の環境整備は。

A7月中旬を目標に作業する。

問 ウルトラマラソン等が新思考で開催されたことは大変喜ばしいが、道路の環境整備が非常に悪いと考える。環境整備の状況は。

町長 町道の除草を含めた環境整備は委託や地区活動で行ってきた。また、県道は7月中旬完了を目標に作業している。



Q物価高騰による畜産農家への支援策は。

A農業全般の支援を検討する。

問 近年の米価低迷もあり、米作り農家のWCS用稲（稲発酵粗飼料）への転換が進みつつある。本町においても機器更新などの意欲も聞こえるが、畜産農家への支援は。

町長 燃料や肥料の高騰もあることから畜産農家に限らず、農業全般を対象とした町独自の支援を検討している。

Q製材業への体制強化支援は。

A現時点での大規模支援は難しい。

問 ウッドショックにより大手製材業者では投資が活発化

している。本町も外貨獲得策として製材業の体制強化等を支援すべきだと思うが。

町長 本町においては乾燥技術などの問題や大規模な投資になることから現時点での導入は難しいと考えている。

Qコロナ後のイベントへの考え方は。

A変化を見極めながら検討する。

問 イベント等のあり方について、アフターコロナを想定した町の考え方は。

町長 ニーズの変化に合わせて対応が必要であり、変化を見極めながら実情に即した支援等を考えている。





まさの まさこ 議員
牧野 牧子

Q 自主防災組織を各
地域に増やすため
の取り組みは。

A 組織結成に向けた
支援、避難訓練等
の開催支援を行っ
ていく。

問 2年連続の豪雨
災害の経験から、
危険箇所などは、各地
住民の方が把握されて
いる。自主防災の意識
が住民の方々にあるの
ではないか。現在、本
町の自主防災組織率は
目標値も低く、現状値
も変わらない。昨年、
防災まちづくり総務大
臣賞を受賞された中町
連合会などを参考に災
害に強く地域コミュニ
ティ活動を高め、人情
あふれる町づくりにな

るための自主防災組織
づくりに取り組んでは
どうか。

町長 自主防災組織は
地域力や自助共
助の意識を高める効果
がある。まずは、「地
域防災計画」に基づき
地域の役員の皆様に啓
発活動、防災知識の普
及を行う。また、本年
10月に「島根県総合防
火訓練」が本町で開催
予定だ。自主防災組織
の結成に向けた、支援、
地域での避難訓練等の
開催支援を引き続き
行っていく。

問 防災訓練などを
行うことは大切
だが、普段から危険個
所や擁護者宅の把握な
ど地区名で共有してお
くべきだ。また、コロ
ナ感染も災害の一つで
あり、陽性になった時
点で買い物にも行けな
い。自宅待機する陽性
者の方が同居家族を検
査に連れて行くなどの
事例もある。近年、様々
な災害に対し関心は高

まっているのではないか。
地区活動の参加でポイ
ントが貯まり粗品をも
らえるなど、簡単に参
加できるような仕組み
づくりへの提案をして
はどうか。

町長 地域防災の組織
率の目標が町と
して低いのも、各地域
の方々に組織が必要なの
も十分認識している。
地域防災力向上のため、
町はいかなる支援もす
る。組織作りには課題が
あれば町も出かけ一緒
に取り組む以外に今は
難しいと感じている。

ま



むら かみ かね たけ 議員
村上 謙武

Q 「財政健全化基本
計画」をつくるべ
きではないか。

A 計画を作る考えは
ない。

問 令和2年度以降、
「行財政改革大
綱」が作られていない。
町長が「健全な財政運
営に引き続き、努めて
まいります」と言われ
ても、その姿が見えて
こない。財政健全化を
実現するための「財政
健全化基本計画」を作
るべきと考えるが。

そのような計画を作る
考えはない。

Q ふるさと納税、地
域経済の発展に特
化した新たな組織
を設置すべきでは。

A 民間、外部委託で
増収を目指す。

問 ふるさと納税事
業に本町も危機
感をもって取り組み、
地域経済の活性化と自
主財源の確保に取り組
むべきと考えるが。

町長 引き続き、本町
製品のブランド
化を推進し、地場産業
の活性化と地域経済の
発展につなげていく。

問 これまでの取り
組みでは、大幅
な納税額の増加は期待
できない。ふるさと納
税と地域経済の発展に
特化した「隠岐の島町
ふるさと応援室」のよ
うな組織を新たに設置
し、地場産業の育成、
地域経済の発展を目指

町長 国の補助制度な
どの積極的な活
用による新たな財源確
保、基金の活用、業務
委託など民間活力の導
入も推進し、健全な財
政運営に努めている。

すべきと考えるが。

町長 ふるさと納税担
当部署と他部署
が連携し、更なる納税
額の増に向け取り組ん
でいる。専門の部署を
設置するのではなく、
民間でできること、外
部委託でできることを
実施しながら増収を目
指していく。



ふるさと納税返礼品の一部



たなか かずたか 田中 一隆 議員

Q 介護職員の確保と養成を。

A 講習会や研修会の確保に努める。

問

隠岐の島町の介護関係の雇用の不足数は11名だ。2025年以降、本町での後期高齢者は急激に増加することはないが、「介護する世代」は確実に減っていく。

少しでも、働き世代を町内に留めるためには、働く介護職員本人に対しても、労働時間や就業条件を緩和するなど、働きやすい環境が必要と考える。処遇改善も含めて、人材確保対策はどのように考えているか。

また、隠岐で働きな



介護資格が取得できる環境づくりを

から「介護福祉士資格」をとることは負担が大き。随時町内で「介護福祉士資格」の取得ができる環境を整えるべきだと思うが。

町長

介護事業所における職員資格取得と処遇改善において、安定したサービスの提供を行う上で大変重要な課題である。

本町における介護職員の処遇改善は、国の制度を利用して、介護職員処遇改善加算を設けており、本町も事業

所における処遇改善の取り組みを支援している。

介護福祉士の育成については、事業所の現場の人員確保が難しい状況のなかで、容易ではないが、職員のキャリアアップを図り、介護の質の向上を図るために、資格取得は重要だ。

介護福祉実務者研修を担う教員を育成することを目的として実施する講習会や、研修機

会の確保に努める。



たかみや よういち 高宮 陽一 議員

Q 物価高に対する家計支援策を。

A 全世帯を対象に秋以降に実施したい。

問

地球規模で原油の高騰にはじまり、世界的な物価高が連日報道されていることは町長も承知のことと思う。日本でも、ロシアのウクライナ侵攻や円安に伴い、4月以降、食品の値上げが本格化し、10月からは更に生活必需品の値上げも予定され、家計は益々きびしい状況となっている。

企業やメーカー側は、原材料費の高騰や燃料高を価格に転嫁しなければ業績悪化は避けられない。一方、消費者

側も賃金は上がらず、年金受給者も6月支給分から減額されるなど、家計への負担は増すばかりだ。値上げ幅は13%にのぼり、値上げのピークは夏だが、秋以降も再値上げがあるとのこと。このまま値上げが続くと、消費者は当面、工夫して支出を減らす努力をするしかなく、結果として家計が苦しくなって消費が落ち込み、コロナ禍から脱却しつつある景気も、冷え込むことも想定される。

物価高に対応するには、直接、消費者を支援することが近道で地域経済の回復にもつながる。

町長は、本町に暮らす町民の安心した暮らしと生活を守り、地域経済の活性化のためにも、県の支援策や地方創生臨時交付金、基金を活用し、現金ではなく例えば、「隠岐びと応援商品券」などのよ

うな、思いきった対策をすべきと思うが。

町長

国では、原油価格・物価高騰等、総合緊急対策が策定され、県でも原油価格・物価高騰対策として総額32億円の補正予算が可決された。本町内でも、町民の日常生活への影響が懸念されるので、有効な施策を決定して、早急に実施したい。

問

具体的な内容と実施時期は。

町長

現金ではなく、全世帯を対象とした、そのような券が発行できればと考えており、8月に臨時議会を開催し、秋以降に実施したい。





前田 芳樹 議員

Q 特別障がい者手当の受給漏れ防止を。

A 制度の周知を行い、防止を図る。

問

「特別障がい者手当」とは、月額2万7350円を支給する国の制度である。全国の受給者数は12万4524人であり、問題は、要介護4・5の方々(約142万人)の中に受給漏れになっている人がいるということだ。

本町でも受給漏れの人がいる可能性があり、家族が受給申請の手続きを完遂することも難しいと考える。そこで、町民向け制度説明の増進と、受給漏れ者が無いよう、行政が捕捉徹

底すべきだと思う。

また、「障がい者手帳」を所持していない認知症の要介護4・5の方々の該当調査と、受給者申請手続きへの行政支援をしようか。

町長

今後は、より一層、町民向けと、居宅介護支援事業者などの関係機関に対する制度の周知を行い、受給漏れの防止を図っていく。介護保険の認定時に、「特別障がい者手当」に関する情報提供を行い、申請手続きの支援に取り組んでいく。

Q 古来集落の消滅防止対策として、町営住宅の分散化を。

A 「住生活基本計画」の調査結果を踏まえて考えていく。

問

全国的に人口減少と都市部集中の対極で、山村集落消滅の事例は絶えない。本町でも集落消滅が目

前となっている所もある。行政措置が急務でないか。

古来からその場所で生活を営み、集落を形成していた人々の歴史も葬り去ることもあり、古来集落消滅を防止する政策が必要である。

町営住宅の地域中心部への団地化を止め、その改築時には、古来集落内へ戸建てをし、公営住宅の分散化を検討する政策転換をすべきでは。

町長

今後の町営住宅の在り方については、本年度が住宅に関する諸課題や、人口動態等の社会情勢の変化による住宅需要を調査することを目的とした「住生活基本計画」の改定年度となっており、調査結果を踏まえて、協議を進め考えていく。

竹島対策特別委員会の取り組み

竹島対策特別委員会は、会期中の6月27日に委員会を開催し、「竹島問題」への関心を高めるための啓発活動について議論、調査をした。

「竹島返還要求 啓発バッジ」

以前製作し、活用していた「竹島返還要求 啓発バッジ」について協議を行った。

委員からは、「議員全員が着用し、竹島問題を啓発すべきではないか」、「当委員会が先導になって、これからも竹島問題を発信すべきだ」などの意見があった。

当委員会からは、竹島問題への理解と関心を高めるため、再度、啓発の一環として「竹島返還要求啓発バッジ」

の製作を執行部に要望した。

樹木「ビヤクシン」移植準備

福浦地区にある「ビヤクシン」という樹木の移植準備について調査を実施した。これは、竹島に関わりの深い鬱陵島由来の樹木で、同じ福浦地区に存在する「ビヤクシン」の孫木にあたる。隠岐の島と鬱陵島との関係性を示すものであり、所有者が

ら「竹島問題の啓発に役立ててもらいたい」と、寄贈の申し出があり、現地視察を行った。「ビヤクシン」は、高さが約4メートル近くあり、所有者が15年かけて育てたものである。所有者とは「ビヤクシン」の移植や増殖について話をする事になった。

委員会では、「ビヤクシン」の移植に係る経費や、時期などについて、今後検討していく。



うつりょうとう 鬱陵島由来の「ビヤクシン」

当委員会に付託された議案は、審査の結果、すべての議案を原案通り「可決すべし」とした。主な内容を報告する。

将来的な総合医療体制の整備を！

審査の状況・結果

◆西郷歯科診療所整備事業について

民間歯科診療所の相次ぐ閉所により、歯科受診が困難な状況になっていることから早急に歯科診療体制を確保するため、閉所した民間診療所を借用し、町立の歯科診療所を開設する事業である。委員会では早急な対応については住民にとつて喜ばしいことであるが、将来的な本町の総合医療体制についても方向性を示した上で整備すべきと指摘した。



開所が待たれる町立歯科診療所

◆文化芸術振興事業補助金について

10月に予定されている落語の公演事業であるが、本町ゆかりの落語家である三遊亭圓楽氏が体調不良により予定月での公演が困難となったため、来年3月まで事業時期の延期を希望するものである。委員会としては「本町ゆかりの落語家でもあり、体調が回復してから良い公演にしたい」という理由から、これを了承した。



◆県立高校施設整備事業について

隠岐水産高校寄宿舎新設の事業であるが、新設に向けて高校や民間とも連携をし、他町村の例も参考にしながら対策を検討していることが説明された。また、新設までの仮住まいに際しても民間の施設や町所有の施設など調査に向き、仮住まい予定地を検討していることも説明された。委員会からは令和5年度の募集にあたり、8月に行われるオープンスクールまでには生徒の受け入れ体制をしっかりと示せるよう早急に協議して対応するよう指摘をした。



寮の建設予定地

◆佐々木家住宅保存修理工事について

木造文化財である佐々木家住宅の耐震補強（ブレース）工事であるが、委員から「木造の文化財建築物であるのに鉄骨を入れるのは木造文化財としての視点から外れるのではないか」との質問があったが、執行部からは「今回の工事については最低限の耐震補強で、見学者等に危険の無い程度の工事である。監督官庁にも事前相談しており、問題は無い」との回答であった。



補強工事をする佐々木家住宅

所管の調査事項

◆中学校空調設備整備事業について

当初の空調設計内容を精査した結果、五箇中学校はキュービクルの更新、都万中学校のキュービクルの改修が必要になったため、世界的な半導体不足等による影響などから大幅な増額が必要となった。8月に予定されている臨時議会にて増額補正を提案したいと執行部から説明があった。委員会からは今回の事情で計画、事業変更することはやむを得ないが、当初からしっかりと計画を立てるよう指摘をした。



五箇中学校のキュービクル

中村園地管理施設内の公衆トイレの早急な整備を！

審査の状況・結果

◆一般会計補正予算 産業廃棄物処理施設 整備事業補助金

都万地区で産業廃棄物処理事業を行う㈱フリンに対して、焼却炉煙突取替工事費の1/2（1750万4000円）を財政支援するものである。

当社は令和3年度12月定例会において、本町より焼却炉維持修繕事業費の補助を受け、焼却炉更新工事を実施していたが、工事期間中に煙突内部の老朽化が新たに発見され、部

分的な修繕では対処することが不可能な状態であることが判明し、早急な煙突取替工事を行う必要が生じたためである。

当社の事業は公益上の必要性が高く、且つ、今後も引き続き事業を行うことが本町にとって必要であるとの総合的な判断に基づき、財政支援を行うものである。

◆探勝歩道改修費

あいランドパークの西側に位置する探勝歩道約1200mの間に設置している、木製階段の腐食の激しい140段程度を取り替える

工事と、通行の妨げとなる雑木を伐採する作業の事業費、併せて600万円の補正である。

歩道には途中2か所の展望台があり、景勝地として魅力ある観光スポットの一つである。

新年度に入ってから国からの補助金交付が決まり、整備事業を実施することになったが、探勝歩道全体の計画的な整備を着実に実施し、観光エリアとしてのあいランドパークの魅力アップを推進するよう、委員会として指摘した。

態にあった施設である。令和3年度、山陰観光開発㈱が指定管理者となり、令和3年12月より営業を始め、約半年が経過したところである。

これまで、昼食のランチメニューを主に営業を行ってきたおり、夏場にはビアガーデンの営業も検討中との説明を受けた。

施設の外観は必要最小限度に整備されている状況で、今後も修繕整備が必要と思われる箇所が散見された。

要望の審査結果

所管の調査事項

◆町有施設の管理運営 状況について

レストラン風（なぎ）は、これまで「レストランうみさち」の名称で親しまれてきたが、約3年間、閉店状

★要望第1号（中地区 区長会からの要望）

要望内容は、①地域の行政機能を充実させるため、中出張所を中支所に。②中村園地管理施設の早急な整備。③布施中村間の町営バスの整備運行。など3項目の要望であった。

中村園地管理施設内にある公衆トイレの早急な整備については、全委員が以前からその必要性を認識しており、委員会としても早急な整備を強く要望し、「採択すべし」とした。

★要望第2号（商工会 会長からの要望）

要望内容は、町内事業者に対して、事業継続に向けた支援策実施の早急な検討を求めるものと、今年出店予定の大型店の出店に、断固反対していただきたい。今後も島外資本の大型店の出店を、阻止していただきたい。という要望であった。

町内事業者への支援策については、現在、実施に向け担当課が検討中であること、また、大型店の出店に関する要望については、今後の動静に不確定な点があることなどから「継続審査とすべし」とした。



老朽化した焼却炉の煙突部

議会基本条例策定特別委員会

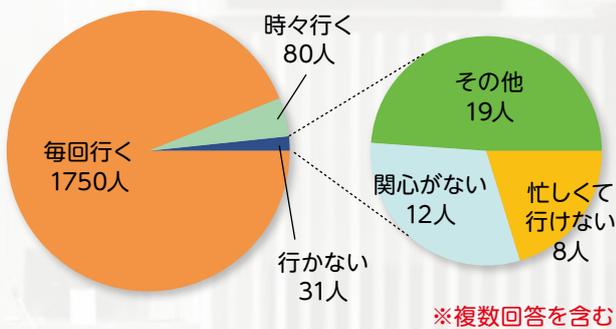
議会に関する町民アンケート集計報告

この度は、議会アンケートにご協力いただきありがとうございました。

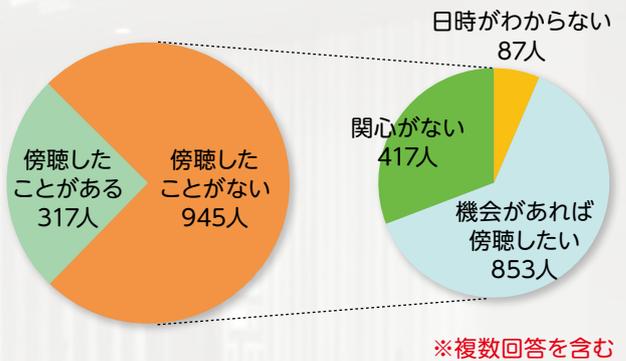
今回のアンケートは全戸（6661通）に送付し、1920通（回収率約29%）の方々からの回答をいただきました。また、自由意見では議会に対するさまざまなご意見やご指摘をいただきました。本委員会では皆様の貴重なご意見を真摯に受け止め、参考にしながら議会基本条例を策定してまいります。

1. アンケート集計結果(全体)

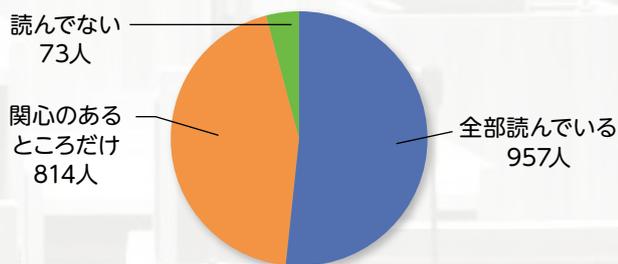
町議会選挙の投票に行かれますか？



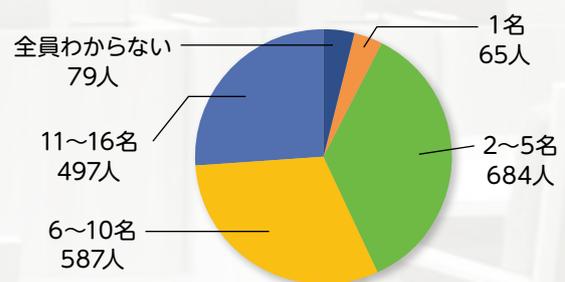
傍聴したことがありますか？



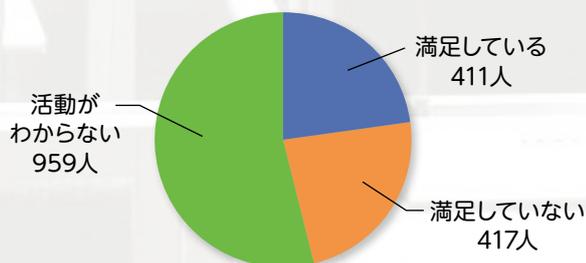
議会だよりは読んでいますか？



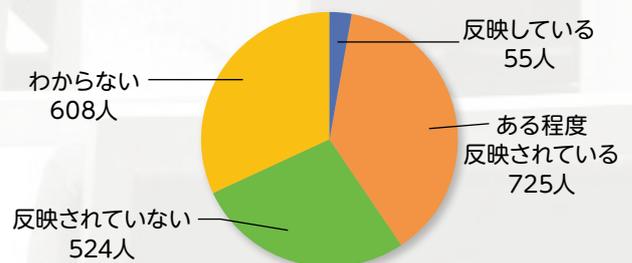
議員の氏名をご存じですか？



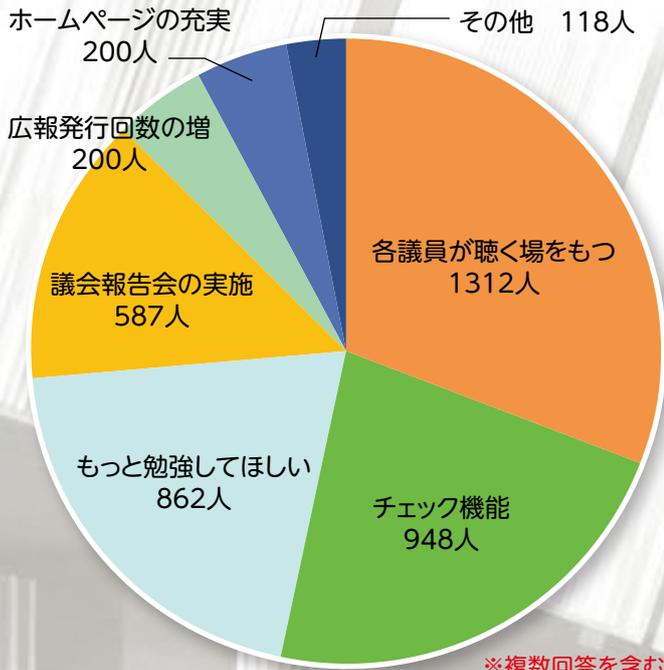
選んだ議員の活動に満足されていますか？



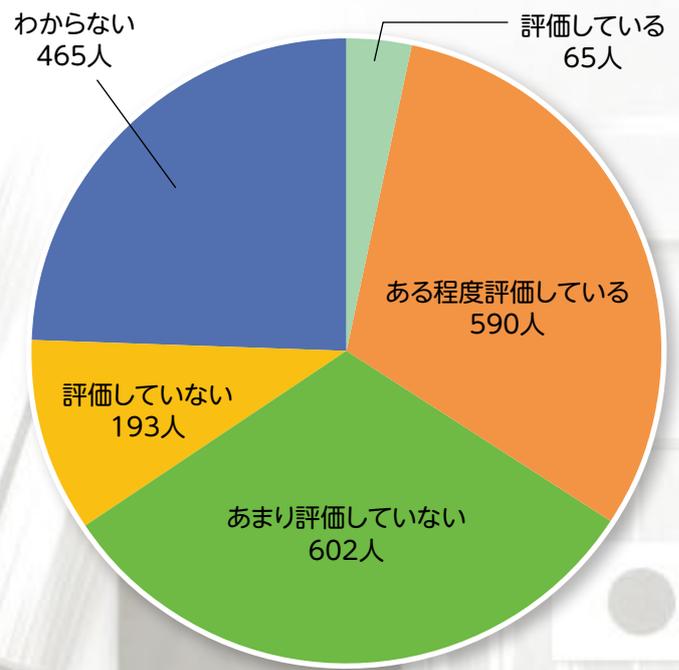
町民の声が反映されていると思いますか？



町議会に何を求めますか？



町議会を評価していますか？



2. 議会に対する評価は？



【評価している・ある程度評価している】

- ・議題に対して真剣に取り組んでいる。
- ・真面目に各自の職責を果たしている様に思う。
- ・議会だより、個々の報告だよりで活動が分かる。
- ・議会だより等で詳しく内容を知ることができる。
- ・ある程度住民の意見が反映されている。
- ・是々非々での対応がある。
- ・一生懸命取り組んでいる。
- ・今回、女性議員が増え女性の視点を期待する。
- ・議会だよりを通じて町が取り組んでいることや、課題について提起している。
- ・今までになかった視点で意見が出て良い。
- ・若い議員が頑張っている。
- ・グループ的な一面も見え、今後継続して欲しい。
- ・よくやっていると思う。
- ・町政がスムーズに行われているように思える。
- ・私の知っている議員は活動している。
- ・こまった時に対応してもらった。
- ・着実に実行している。
- ・活躍している方の話をたまに聞く。
- ・明確な目標のもと行動している。
- ・高齢社会の中で頼りにしている。

【評価していない・あまり評価していない】

- ・議員は役場に遠慮しているように思う。
- ・町民の意を汲んで活動していると思えない。
- ・地域課題に対して勉強不足。
- ・町民のために働いてほしい。
- ・町の発展を本気で考え実行して欲しい。
- ・職業としての議員が多いような気がする。
- ・目に見えない。マンネリ化している。
- ・情報発信がない、活動状況が分からない。
- ・核心を理解せず、質問する議員が多すぎる。
- ・本当に政治力のある人はいない様な気がする。
- ・普段から姿すら見ることがない。
- ・行政と議会が馴れ合いになっていないか、もう少し活性化を望む。
- ・町政のチェック度が甘い。
- ・熱意が具体化している方と理想論に終始している方、名誉職と解し保身に入っている方と様々です。
- ・公僕であることを忘れずに取り組んで欲しい。
- ・全議員一人ひとりの活動が見えない。
- ・執行部と議会の緊張感がない。
- ・活気がない、個人の活動が見えてこない。
- ・隠岐の島町の将来を考えていない。

3. 皆様から頂いたご意見(抜粋)



皆様から定数・報酬、議会運営、議員活動などについて、多くのご意見を頂きました。頂いたご意見は、「基本条例に盛り込むもの」、「引き続き検討するもの」に分類し今後対応してまいります。また、紙面の都合上、掲載できなかったご意見については、議会ホームページに掲載するほか、各支所や公民館、図書館でご覧頂けます。(持ち帰り可能です)

定数・報酬についての主なご意見

- 人口減少の中16人の議員は多いと考える16人から12人で定数減をすべきだ。
- 今の議員数は人口の割に多すぎると思う。議員数を減らすべきだと思う。
- 議員の高齢化対策として定年制導入または当選回数制限等。
- 議員定数を減らすことは町民の声が町政に届きにくくなります。これ以上の減数はしないようお願いします。議員一人や二人の報酬を減らすことより議会機能の充実の方がより重要です。
- 経済六団体も提案している定数減も聞くけど、議会の本気度がわからない。
- 議員自から議員定数の見直しを提案して欲しい。

【議会基本条例では】

議員の定数、報酬に関しては、減を望む声が多くありました。今回のアンケート結果を受け、議会では議員定数・報酬について参考人制度や公聴会制度などを活用しながら検討することとしています。

→ (第10章 議員の身分)

議会のあり方についての主なご意見

- 住みよい隠岐の島町にするために必要とするものや、不必要なことに対してきちんと判断してほしい。
- ネガティブな事案が発生した場合、責任の所在を明確にさせること。
- 町の政策の徹底検証を。
- 町民サイドの考え方で行政へのチェック機能を充実していただきたいと思う。
- 前例踏襲ではなく、町民のために議会はつねに新しい考え方を生み出し進んでいただきたい。
- 中立公平であること。一部の町民のための議員・議会であっては面白くありません。
- 行政のチェックも大事だが、町民の声を聞き行政に対し政策を提案することを要望する。
- 議会と行政が、互いに緊張感をもって馴れ合いであってはならない。
- 議会での発言は、町政に与える影響が大きいと思うので、少数の声にも耳を傾けて欲しい。
- 議会で十分に討議されず中途半端で終わっている。しっかりとした討議を望む。

【議会基本条例では】

議会基本条例では議会の活動原則や町長との関係を定め、町民にとって開かれた議会を目指していきます。また、議会での議論をより充実させるため、議員間討議の実施も今回の基本条例で盛り込む予定です。

→ (第2章 議会の活動原則、 第5章 町長と議会の関係、 第6章 議員間討議)



議員活動についての主なご意見

- 行政の悪いところ探しばかりでは意味がない。町の発展のためいいところを伸ばす役目がある。
- 町民の話や困っている職場に、その場のトップだけでなく幅広く聞いてほしいし、話しやすい議員さんでいて欲しい。選挙の時の熱意をもって仕事をしてほしい。
- 不正をしないで欲しい。ボランティアでやったらどうですか？
- この町が本当にこのままでいいのか真剣に考えて活動してほしい。批判ばかりでなく提案を。
- 選挙時のマニフェストを遂行できていますか？町民のために、しっかり働いてください。
- 全議員が勉強し、役場の執行権のある人の独断とにならないよう公平な判断をしてほしい。
- それぞれの議員が得意分野で力を発揮してほしい。地域や職種によって要望は異なるが、知ることとは大事だと思う。
- 議員が日ごろ何をしているのかわからない。質問をもっと勉強して。
- 当選したら4年間は安泰なので、あまり何もしない人が多いように見受けられる。
- 町議は各地区の代表者ではない、町全体の代表である。執行部との馴れ合いが目立つ。
- 女性議員が3名になったことは素晴らしいと思うし、若い人たちが議員になっていることも良いことだと思う。
- 議員が選挙の時だけでなく、普段から町民一人ひとりに聞いて歩いて回ることを望む。
- 行政に対するチェックが出来ていないように思う。無駄な政策には無駄と言っても良いのでは？

【議会基本条例では】

基本条例では、政治倫理や議員の活動原則などを定めることにより町民に信頼される議員活動を目指していきます。

→ (第3章 議員の活動原則 第8章 政治倫理)

議会と住民の関係（広聴等）についての主なご意見

- 町民の声をしっかり吸い上げ、行政との橋渡しをしてほしい。
- 各地域で議会報告会を開くことで、各議員がもっと町民の話を聞く場ができる。
- 議員の活動が分かりづらいので、議会だよりの充実を。
- このアンケートの趣旨が分からない。議員がもっと働き、住民と関わり対話しよう。
- 議会だよりにカタカナ、横文字はできるだけ日本語にしてほしい。
- 今回のアンケートは、大変良いと思う。議会だよりの工夫して読み易い。
- 地域によっては議員がいないところもあります。細かい問題にも耳を傾ける機会・場を作りたい。
- 年に1、2回各地区で説明会を開いてもらいたい。
- 各地区の要望を聞いて回り、議員と住民の隔たりをなくし小さな問題から地域と相談してほしい。



【議会基本条例では】

基本条例では、定期的な議会報告会の開催のほか、政策サポーター制度や議会モニター制度を活用し、議員だけの議会ではなく住民参加型の議会を目指していきます。

→ (第4章 町民と議会の関係 第7章 議会の活性化の推進)

採決の状況

全会一致で承認・可決した議案

(臨時会)工事請負契約の締結について (隠岐の島町子育てビジター交流センター建設工事)	(臨時会)工事請負契約の締結について (公共下水道管路布設 2号幹線その9)
令和3年度一般会計補正予算(第9号)の専決処分	令和3年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第5号)の専決処分
令和3年度国民健康保険施設勘定(五箇診療所)特別会計補正予算(第4号)の専決処分	令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分
令和3年度駐車場事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分	令和3年度布施へき地診療施設事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分
令和3年度後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分	隠岐の島町税条例等の一部改正の専決処分
令和4年度一般会計補正予算(第1号)	令和4年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)
令和4年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	隠岐の島町牧野設置及び管理条例の一部を改正する条例
町道路線の認定について	工事請負変更契約の締結について (佐々木家住宅保存修理工事)
工事請負契約の締結について (隠岐ポートプラザ衛生設備改修工事 2期工事)	工事請負契約の締結について (運動公園総合体育館照明改修工事)
工事請負契約の締結について (公共下水道管路布設{港町7区}工事)	物品購入契約の締結について(小型ノンステップバス購入)
訴え提起前の和解について(2件)	発委第2号 地方財政の充実・強化に関する意見書

皆様からの請願・陳情・要望

	件名	提出者	付託委員会名	審査結果	理由
要望	中地区の行政機能の充実と整備を求める要望	中地区区長会 会長 稲葉 良一	産業建設 常任委員会	採択	早急な必要性がある
請願	地方財政の充実・強化に関する意見書を政府等に提出することを求める請願	隠岐の島町職員組合 執行委員長 松岡 隆介 紹介議員 高宮 陽一	総務教育民生 常任委員会	採択	地方創生と福祉の増進を推進するために必要
要望	町内事業者の事業継続に向けた支援策の実施について	隠岐の島町商工会 会長 金田 隆徳	産業建設 常任委員会	継続審査	

陳情

「女性トイレの維持及びその安全安心の確保について」「国民の祝日『海の日』を7月20日に固定化する意見書提出を求める陳情」「沖縄を『捨て石』にしない安全保障を求める意見書の提出を求める陳情」「中国共産党による臓器収奪の即時停止並びに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情」の4件は配付としました。



TEL(2) 8568
FAX(2) 3396

議会事務局
文責 大江 寿

8年後の2030年には、「かみあり国スポ・障スポ」と称し、島根県で開催予定です。当時の団結力を教訓に、成功に向けて協力していきたいと思えます。

わが町はヨットの競技会場(立木ヨットハーバー)となり、大会当日は3500人あまりの観客の中、行われました。

私は当時小学生でしたが、日の出トンネルが開通したり、道路が広くなったりと町が変わっていく様子は子供ながらに感じていました。

今から40年前の昭和57年(1982年)、島根県では第37回国民体育大会、「くにびき国体」が開催されました。

編集後記